

なからぎの森

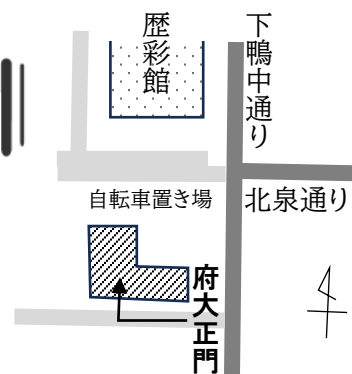
発行元：京都市立植物園整備計画の見直しを求める会
 (通称：なからぎの森の会)
 〒606-0851 京都市左京区下鴨梅ノ木町 62-2

旧総合資料館跡地開発の説明会に参加しましょう！

旧総合資料館跡地の開発に関する説明会が開催されます。多くの住民が参加し、声をあげましょう。開発を担当する日本リグランド社は、9月20日から旧資料館近隣の住宅に「説明会」開催のチラシを配布しています。どこまでの地域に配布されるか分かりませんので、なからぎの森の会では、葵・下鴨・松ヶ崎・上賀茂の学区を中心に、この号外を配布いたします。

「説明会」の日時は、9月29日(日)14時～15時まで。
 会場は、府立大学の合同講義棟3階の第7講義室です。

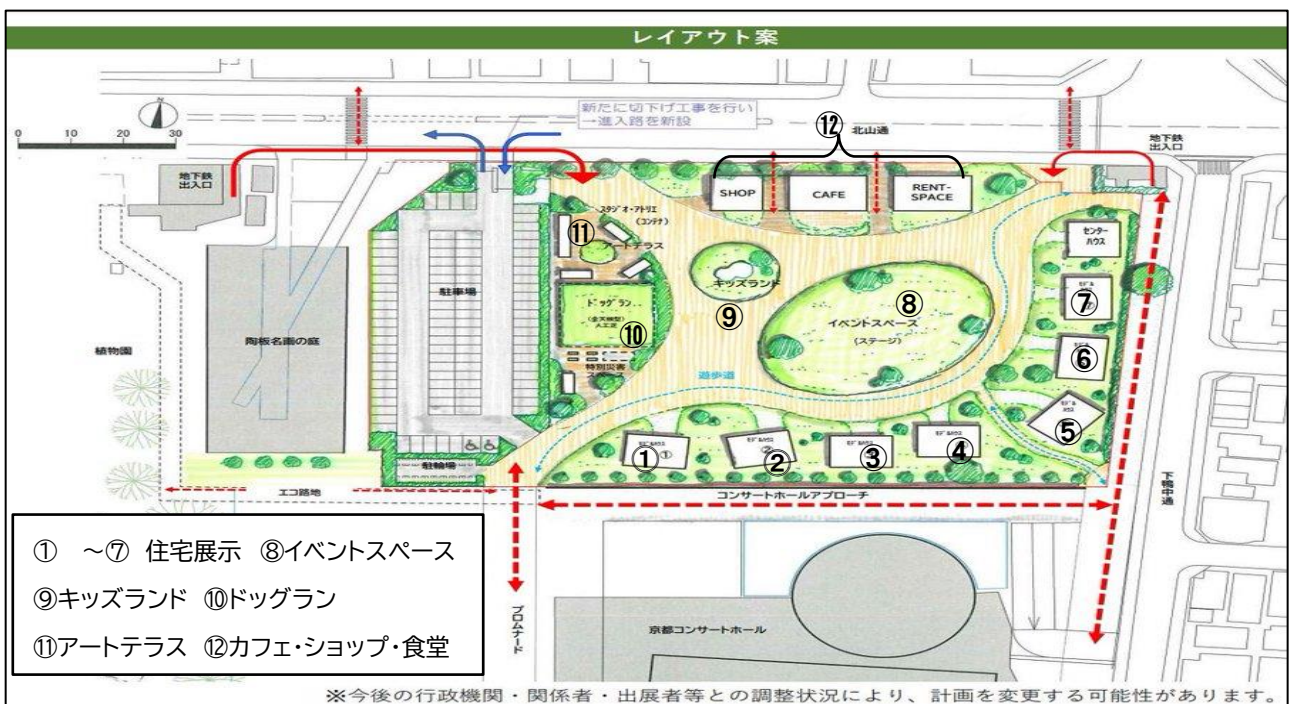
会場は、下鴨中通的府立大学正門をいってすぐ右手にある3階建ての赤レンガの建物で、3階までエレベーターで上がることが出来ます。事前の申し込みはいらぬようです。



◇ あまりにも性急な「説明会」の開催

私たちは、昨年の5月より、この(旧)総合資料館跡地利用について、京都府に対して住民の意見を聞き(住民懇談会の開催)、地域住民の意見を反映した再開発案とするように何度も申し入れてきました。しかし、意見を聞かないまま今回、突然の「説明会」の開催となった上に、周知期間もたいへん短いことは問題であると思ひます。

今回の説明会は、あくまでも2032年までの暫定利用についての「説明会」であり、その後の恒久的な建設についての「住民懇談会」開催を望みます。



暫定計画図：京都府が2023年12月に地域に配布したものからの引用
 番号とその説明は見やすいようにわたしたちで加えました

裏面もご覧ください

旧総合資料館跡地の暫定利用案についての私たちの心配

2024年9月21日 なからぎの森の会

◇ 大きな心配と要望

- ① 北山エリアの入り口、顔である旧総合資料館跡地の利用の在り方について、もっと地域住民の声を聴いてほしい。1回きりの「説明会」でなく、今後も住民、商店街などの話し合いをしてください。
そのために京都府・日本リグランドは「住民懇談会」を設置してほしい。情報の公開も必須です。
- ② 子供や高齢者も使える、文化と緑の薫る場所にしてほしい。
- ③ この地域の暫定利用についての管理、運営はどうなるのか。
安心・安全が担保されるようお願いしたい。夜はどうなるのか。
管理事務所は設置されるのか。警備員は置かれるのか。管理責任はどこか。周知してほしい。
- ④ 2032年以降の新たな恒久施設計画について住民との対話、懇談をしてほしい

◇ 個別的な心配と要望

- ① 残された樹木はどうなるのか。できるだけ残して活用してほしい。
- ② 静かな住環境の保証を。大きな騒音が出ないように。
- ③ ドッグランの安全は、担保できるのか。
沢山の子供・高齢者が通行している場所であり、心配があります。
- ⑤ 地下鉄の【1番】入り口周辺を安全で効率的な場所となるように整備してください。
- ⑤ 地下鉄利用のためのエレベーターを駅の東側にも設置してください。

- ◆ 私たちは、他の団体と共同で、これまで京都府に緑を残し、この場所を文化と緑の薫る安心安全なスペースとするように申し入れをしてきました。

にもかかわらず、京都府や日本リグランドは私たちが要請してきた「住民との懇談」については実施してくれませんでした。

そして、旧資料館跡地の樹木については、一部分を除いてほとんどを伐採してしまっています。植物園に続く緑として何とか残してほしいものです。

写真上

北山通北側から見た旧総合資料館跡地のいま。フェンスの向こうに重機が見え、その向こうにコンサートホールが見える

写真下

跡地に残されたわずかの樹々
いずれも9月20日撮影

